

高齢者等を地域社会で支えるために 地域福祉の充実を

あやせ市政クラブ 石井麒八郎

問 政府は療養病床の六割を削減し、入院治療を必要としない患者を介護施設等に移す方針で医療制度改革関連法を決定した。これには、家庭の事情や地域介護サービスの不足で退院できない社会的入院とその背景にある医療費の膨張が起因している。核家族化や女性の社会進出が進

み、高齢者等の介護を家族に求めるのが困難な状況であるため、地域社会で支えるための多様な施設とサービスの仕組みが必要となるなど、地域福祉の充実に対する取り組みは。また、福祉行政の一元化に向け総合福祉会館の建設構想は。

答 本市では障害者、子ども、高齢者等が安心して暮らせるまちづくりを進めるため地域福祉計画に基づき、行政や市民、社会福祉協議会、事業者等と役割を分担、連携して地域福祉活動を進め、地域支援体制の確立などを積極的に推進し、地域福祉の充実を図る。また、団塊の世代が新たな活動の場を求め地域の団体に加入するなど活躍が期待されるため、地域福祉リーダーの育成や市民スクール等により行政と市民との協働で地域福祉の推進に取り組む。施設の建設については、今回の基金条例と併せてプロジェクトを設置し総合福祉会館複合施設としてその中身や規模、建設場所等を今後検討していく。

団塊世代教員の大量退職 に備え初任教員の育成を

新政会 綱嶋 洋一

問 教員の高齢化が一段と進み、教員の平均年齢は過去最高となつていくが、それに伴う教員の年齢構成の偏りはさまざまな影響を与えるであろう。民間企業では、団塊世代の退職を二〇〇七年問題として重要な経営課題としており、教育の現場でも同じ状況が起こる事は明らかで、教員の大量退職に伴う新規大量採用の時代を迎えるが、教員の質と量をどう確保し、義務教育の質をどう保証するか。また、教員希望者が減ってきている中、教員不足を解消するために質より量になる心配もあるが、こうした状況下で新採用の教員に對

してどのような対応を考えているか。
答 本市では今後一〇年間で全体の半数近くの教員が退職すると推測している。こうした中、教員の人材確保という量的な課題もあるが、最も重要な課題は教員の質の問題である。特に熟練した教員が維持していた指導技術などのノウハウの継承こそが重要な課題であると考え、校内で行う初任教員に対する研修については、指導教員を中心にベテラン教員が協力し授業の進め方等実践的なことを指導する。また、校外では、総合教育センター等で講義、演習、実技指導を、さらには児童福祉施設や民間企業などでの体験学習も行う。(他に「少子化対策について」を質問)

介護保険改正に伴う介護 予防の充実と取り組みは

公明党 出口けい子

問 今回の介護保険制度の改正は介護予防を充実させ、認定者の半分を占める軽度の介護者を減らし、財政の健全化を図り、持続可能な制度の維持を図ることにある。そこで、今回の改正で最も力を入れたものが介護予防のマネジメントを行う中、公正な拠点であり、予防マネジメントの核として創設した地域包括支援センターである。ここでは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーの三職種によるチームアプローチが重要であるが、三者の連携と地域ケアを総合的に支援するマネジメント体制及び人材確保をどう用意するか。
答 介護保険法の改正により新た

に設置することが規定された地域包括支援センターは、地域ケアシステム構築の要となり、介護予防、要支援者への居宅介護支援、高齢者の権利擁護等、包括的に相談支援活動の役割を担うことから健康介護課内に設置し実施する。また、三職種についてはそれぞれの専門職として経験のある常勤の職員を配置する。三職種間の連携については、それぞれが専門の業務のみを実施するのではなく、情報の共有や相互の助言等を通じ支援の目標に向かって連携し対応する。(他に「食育推進プランの取り組みについて」「小児慢性特定疾患の調整について」を質問)

春日台中学校校舎 外壁劣化の調査結果と今後の対策は

日本共産党 松本 春男

問 春日台中学校の外壁劣化に関する資料を確認したところ、調査前から施工業者と市が、それぞれ改修する箇所を決めていたことが判明した。このような中で行われた調査の結果、鉄筋とコンクリートに問題はなく、コンクリートのかぶりの一部不足している箇所を確認したとのこ

とだが、コンクリートの強度について調査を行ったのか。また、爆裂の原因、改修工事における業者の負担と改修の時期は。今回の状況については、手抜き工事の原因との考えから、弁護士などの専門家に業者の法的責任について相談したのか。
答 調査結果のとおり鉄筋の本数と径、コンクリートの厚さから強度的に問題ないと考えているため、調査は行っていない。また、爆裂は、コンクリートのかぶり不足と配筋工の不良が原因とされており、このことやクラックなどで鉄筋が露出している箇所は、すべて業者の負担で改修する。時期については、このままでは危険と見受けられる箇所もあるため、学校の春夏休みを利用して早急に行う。今回の調査結果から、手抜き工事ではないと考えているため、弁護士等に相談はしていない。(他に「民間事業者における綾瀬市指定看板」「自立支援」「介護保険」を質問)

市民の安全・安心 のため消防体制の 広域化を進めては

あやせ市政クラブ 中野 昌幸

問 総務省消防庁は、小規模消防本部の初動体制や増援体制等に問題が多いとして、全国各消防本部の広域化を推進してきた。しかし、現在も人口十万人未満の小規模消防本部が全国の六三%を占めるなど広域化が一向に進まない中、近年の大災害が多様な事故等で、消防・救急を取

り巻く環境が激変し、さらに、将来人口の減少による影響から、消防体制の広域化、大規模化を進め充実強化を図る必要がある。そこで、この問題意識のもと、消防庁は今後の消防体制のあり方に関して調査検討し、本年一月に中間報告を発表したが、この報告の内容と本市の対応は。
答 中間報告における火災のリスク及び対処方針では、火元建築物一棟の火災にとどめるのに、消防本部の管轄人口十万人未満でも必要最小限の対処は可能だが、さらに三倍以上の火災に対応可能な消防力があれば、ほとんどの火災に対応でき、消防本部が大規模な対応強化になるため、組織管理、財政運営上からも消防本部の姿としては管轄人口を三十万人以上とする広域化の実施が望ましいとしている。本市としては、国等の動向に注意しながら、市民が安全・安心に暮らすための消防体制がどうあるべきか、近隣市とも協議したうえで検討していきたい。



4月6日 風車(ふうしゃ)公園が開園しました。市民参加によりつくりあげた高台にある公園です。早速、子ども達は目新しい遊具に興味津々、すべての感触を試すかのようにいそがしく走りまわっていました(大上二丁目地内)

詳しい内容は 会議録で

市議会報は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。市のホームページまたはアドレス
www.kaigiroku.net/
kensaku/ayase/ayase.html
からご利用ください。
なお、三月定例会の会議録は、六月上旬に閲覧できる予定です。

一般質問に 一問一答を導入

市議会では、昨年の6月定例会から一般質問の方法を改め、従来の一括方式に加え、一問一答方式を導入しました。

【二問一答方式】 第二回目の質問は通告した質問の全てをまとめて行い、再質問は二問ごとに行う方式。五十分の時間制限内であれば再質問の回数は無制限。

【一括方式】 第四回目の質問は通告した質問の全てをまとめて行い、再質問は必要なものをまとめて行う方式。再質問の回数は二回までとし、質問時間は五十分以内。